

■地域医療研修プログラム（藤原記念病院）

1) 一般目標

地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携し、主な慢性疾患について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、継続診療ができる。

2) 行動目標

1. 患者情報を収集し、患者の意向や生活の質に配慮した臨床判断を行う。
2. 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
3. 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。
4. 多職種のスタッフと、相互理解に基づいたチーム診療を行う。
5. 医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用し、保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
6. 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
7. 地域の実情にあった地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
8. 予防医療・保健・健康増進に努める。

3) 研修方法

1. 外来研修：初診患者の診療を担当し、各種検査を組み立て、その結果を判断し治療介入する。治療介入後の再来を担当し、その治療効果について学習する。
2. 病棟研修：入院患者の診療を担当し、上級医、指導医とともに日々の診療、治療介入を行い、診療記録を作成する。担当患者の退院に際し、退院後計画を作成し説明する。
3. 病状説明：担当患者については指導医とともに説明を行う。
4. カンファレンス：多職種カンファレンスに参加し、担当患者の病状や治療方針を説明、共有し、退院にむけての地域連携室の役割を理解する。特に自宅退院、施設入所、介護サービス活用の上での医療的ケアの優先順位、退院への制限因子について学習する。
5. 院内地域連絡会：ケア・マネージャー、担当看護師、担当薬剤師等とともに入院患者の日常生活での情報を共有し通院・退院に向け連携の重要性を理解する。
6. 在宅医療：上級医または指導医とともに訪問診療に同行し、患者が行う日常生活の場での診療を経験する。
7. 特別養護老人ホーム・老人健康施設など：指導医に同行し、診療を経験する。さらに、利用者とその家族、施設職員やケア・マネージャー等とのコミュニケーションを通じ、利用者の生活について学ぶ。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。
2. 当科独自の評価

藤原記念病院 週間予定表

		月	火	水	木	金
午前	入院患者カンファレンス		チューブ交換、胃瘻交換等の外来処置と、病棟回診	チューブ交換、胃瘻交換等の外来処置と、病棟回診	・エコー ・内視鏡	病棟回診
	今週の検査予定の検討		↓	↓	介助	
午後	回診		手術	関連施設での胃瘻交換。 ・リウマチ外来 ・心療内科外来 ・一般外来 (週により変更あり)	褥瘡回診	手術
	退院カンファレンス					